

○令和5年5月24日 文教厚生委員会の第1回現地視察を行いました。

県議会の各委員会では、閉会中の委員会活動として、毎年テーマを定めて現地視察を行い、関係者から御意見等を伺っております。

文教厚生委員会では、今年度のテーマを「ライフステージに応じた健康づくりについて」及び「文化財の保存と活用について」と定めており、今回、2カ所の現地視察を行いました。

まず、四国民家博物館（高松市屋島中町）において、敷地内の施設や文化財の概要や補修状況、観光施設としての活用状況について説明を受け、県指定有形文化財の旧黒瀬家丸亀藩御用蔵や重要文化財である旧河野家住宅、旧下木家住宅等を視察した後、質疑を行いました。



次に、葵機工株式会社（高松市朝日町）において、事業所の概要及び社内における健康づくりについて説明を受け、質疑を行った後、自動販売機へのカロリー・糖分表示や熱中症対策として特定保健用食品の飲料を社員に無償提供していることなど、社内での取り組み状況を視察しました。

